平成 24 年度　成人看護学　【問題用紙】

※問題は両面に印刷されています。解答は、すべて解答用紙に記入すること。

1．成人期について、①成人期の特徴とは、②成人期の発達課題、③成人各期の発達段階を理解することは、看護女アにどのように役立つか、についてそれぞれ述べよ。(7 点)

① 思春期は、受療率・死亡率が最低であり、心身の発達が急激である。
青年期は、身体・精神の発達と調和があり、適切な日常生活を送ることが大切である。また、愛と仕事の適齢期である。
中壮年期は、老化や加齢、3大疾患、メンタル問題に直面する。
向老期は、職業人生の終わりを迎える。

②

③

2．成人期に起こりやすい健康問題にはどのようなものがあるか。疾病名あるいは症状を2つ上げ、それぞれについて日常生活行動での考えられる原因を述べよ。(6 点)

疾病名・症状　糖尿病

日常生活行動での考えられる原因

高カロリー食品などの過剰なカロリー摂取

疾病名・症状　高血圧

日常生活行動での考えられる原因

塩分の過剰摂取

(看護が行う予防策　食事指導)

次頁あり

3．次の文章は、周術期における看護について述べたものである。文中の（　　）内に、下欄のア～セより適切な語句を選択し、文章を完成させなさい。（1点×8＝8点）

患者は病名告知や手術が必要であると告げられることにより衝撃を受け、心理的に動揺し、冷静な判断が困難になることがある。そのため、患者の話に耳を傾け、必要な情報を提供するなどして（　①　）の支援を行う。

コ．意思決定

手術によって身体の一部を失うことになる患者に対して、十分なサポートのもとに、患者があとで見たり感じたりするであろうことを事前に告げ、同時にそれに対処するための方法や援助を行うことを（　②　）的指導という。

ケ．予期

医師の診断や治療方針の提示に納得できていない患者には、十分な情報を提供したり、希望によりセカンドオピニオンを受けることが可能であることを話したり、さらには手術を安全に受けられるようリスクマネジメントをするなど、患者の（　③　）に努めなければならない。

サ．権利擁護

入院から手術を経て退院するまでの大まかなスケジュールや身体状況の変化について図示したケア計画書を（　④　）という。

カ．クリティカルパス

コントロール不良の糖尿病患者は術後合併症のハイリスク状態にある。それは、長期的な高血糖状態は、浸透圧利尿による（　⑤　）を引き起こし、心筋梗塞や脳梗塞などの合併リスクが高いほか、（　⑥　）の機能の低下に伴う免疫力低下をもたらしたり、慢性的に血管内皮細胞や繊維芽細胞の障害をもたらすために、（　⑦　）の遅延を起こすなど、様々な問題を生じるためである。

エ．脱水　セ．白血球　シ．創傷治癒

低栄養状態も術後侵襲からの回復に重大な影響を及ぼす。この栄養状態の指標のひとつが、血清中の（　⑧　）値である。これが低値だと、創治癒が遅延したり、浮腫を生じやすかったりするため、術前にできる限り改善することが望ましい。

ク．アルブミン・総蛋白

ア．クリニカル・ラダー	イ．調整	ウ．溢水	エ．脱水	オ．中性脂肪
カ．クリティ（ニ）カル・パス	キ．ミオグロビン	ク．総蛋白	ケ．予期	
コ．意思決定	サ．権利擁護	シ．創傷治癒	ス．赤血球	セ．白血球

権利擁護　advocacy・アドボカシー

クリティカル・パス　入院から退院までのケア計画書

次頁あり